

名古屋選挙区宗議会議員選挙公報

名古屋選挙区選挙管理会

告知事項

1. 選挙の期日・立候補の届け出期間及び選挙運動の期間の告示

名古屋選管告示第3号
2025年8月22日
名古屋選挙区選挙管理会

このたび、宗議会議員選挙条例第40条第1項により、下記のとおり総選挙を実施するため、同条例第47条第1項により告示する。

記

- 選挙の期日 2025年9月15日
- 立候補の届出期間 2025年8月25日から8月27日まで
- 選挙運動の期間 立候補届出の日(受理後)から9月11日まで

2. 選出すべき議員の定数 5人

3. 候補者の告示(届出順)

名古屋選管告示第4号
2025年8月25日
名古屋選挙区選挙管理会

来る9月15日施行の宗議会議員選挙に下記のとおり立候補の届出があったので、宗議会議員選挙条例第51条第1項により告示する。

記

- 候補者の氏名 勅使 忍
- 所属する寺院の名称 第18組 法善寺
- 所在地 愛知県名古屋市中区東区葵一丁目2番11号
- 推薦届出人の氏名 小嶋 久佳

名古屋選管告示第5号
2025年8月25日
名古屋選挙区選挙管理会

来る9月15日施行の宗議会議員選挙に下記のとおり立候補の届出があったので、宗議会議員選挙条例第51条第1項により告示する。

記

- 候補者の氏名 藤原 正雄
- 所属する寺院の名称 第13組 西源寺
- 所在地 愛知県愛西市西川端町大込屋敷80番地
- 推薦届出人の氏名 横川 顕信

候補者 **藤原正雄** (66歳)

所属 名古屋教区第13組 西源寺
所在地 愛西市西川端町大込屋敷80番地
被選挙資格の区分 宗議会議員選挙条例第2条第1項第1号

昭和37年、真宗同朋会条例が制定され、爾來63年間同朋会運動に邁進してまいりました。

その間、数々の施策を発信し、時代背景を鑑みつつ実動し、今は、『行財政改革』を主たる施策として動いています。

立教開宗の精神により同朋教団が現代社会においてその実を挙げるためにこの運動を発足するとあり、また、会員が自らの上に教法を聞き開き、その自覚を生活に生かして、もって健全な社会の形成に寄与すると同朋会運動の目的が明示されています。

全国、住職をはじめとして門徒の方々も念仏相続に努力して日暮を立てておくことも確かです。しかし、その努力以上に時代の荒波は強く、取り巻く環境、人と人との関係性の希薄化は強烈に進んでいることは疑いの余地がありません。

現実の社会に『宗門存立』の意義を明らかにしたいと願ってきたことが、今如何なる相になっているのでありましょうか。

目先の財にばかり感わされず、諦めずに、【将来の教団のすがた】を一人でも多くの方と議論する時期であると思います。

皆さんと共に宗政に参加を願います。

推薦届出人 第13組養性寺 横川 顕信
選挙事務長 第13組浄光寺 滝 薫

運動員 第13組永敬寺 秋月 文雄
第13組蓮慶寺 永尾 宣正
第13組西生寺 山田 智

名古屋選管告示第6号
2025年8月25日
名古屋選挙区選挙管理会

来る9月15日施行の宗議会議員選挙に下記のとおり立候補の届出があったので、宗議会議員選挙条例第51条第1項により告示する。

記

- 候補者の氏名 花園 兼有
- 所属する寺院の名称 第26組 光圓寺
- 所在地 愛知県名古屋市中川区万場二丁目1003番地
- 推薦届出人の氏名 木全 和博

名古屋選管告示第7号
2025年8月25日
名古屋選挙区選挙管理会

来る9月15日施行の宗議会議員選挙に下記のとおり立候補の届出があったので、宗議会議員選挙条例第51条第1項により告示する。

記

- 候補者の氏名 富田 泰成
- 所属する寺院の名称 第28組 妙用寺
- 所在地 愛知県稲沢市祖父江町祖父江中屋敷86番地
- 推薦届出人の氏名 野田 慈勝

名古屋選管告示第8号
2025年8月27日
名古屋選挙区選挙管理会

来る9月15日施行の宗議会議員選挙に下記のとおり立候補の届出があったので、宗議会議員選挙条例第51条第1項により告示する。

記

- 候補者の氏名 眞野 琢児
- 所属する寺院の名称 第4組 法林坊
- 所在地 愛知県一宮市千秋町浮野字屋敷191番地
- 推薦届出人の氏名 下間 修

4. 無投票の告示

名古屋選管告示第9号
2025年8月28日
名古屋選挙区選挙管理会

来る9月15日施行の宗議会議員選挙は、宗議会議員選挙条例第69条第1項により投票を行わないこととなったので、同条第2項により告示する。

候補者 **花園兼有** (68歳)

所属 名古屋教区第26組 光圓寺
所在地 名古屋市中川区万場二丁目1003番地
被選挙資格の区分 宗議会議員選挙条例第2条第1項第1号

教区内各御寺院に立候補のご挨拶をさせていただきましたとおり、2017年に多くの方々のご支援を賜わり初当選以来2期8年にわたり宗政に参加させていただきました、この度引き続き真宗興法議員団の一員として正式に立候補いたしました。

これまで有権者の皆様を示した公約の中で、現今の宗門の最重要課題であります宗務改革をベースとした行財政改革の推進については、基礎・基軸となる「教団の質的転換」を期したうえで、宗務当局の施策遂行に協力していく所存であります。そんな中、各教区からは教区運営の中心となる役割を担う方々から大変厳しいご意見を賜わり、あらためて地方宗務の実状に寄り添って相互に信頼と協力と理解を積み重ねて改革を押し進めていくことが、大谷派教団の将来像を決定していく喫緊の問題であり、傾注して議員活動に取り組む所存であります。

次世代に受け継がれる宗門の将来のため、大谷派宗憲の精神に基づく同朋会運動のさらなる歩みと願いの中から真の僧伽教団を志向し、下記に示した施策内容を中心に宗政の場に臨む所存であります。何卒意のあるところをお含みいただき、倍旧のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- 令和6年能登半島地震の発災から観えてきた広域災害に対する「災害につよい宗門づくり」と息の長い支援体制の構築。具体的には、共済制度の見直しによる一カ寺一門徒に寄り添った財政措置と制度設計。
- 行財政改革による財政健全化に向けて、本山・地方の教化研修計画の整合性を確認し教区教化事業予算について俯瞰的に捉えた調査を行う。
- 2期8年にわたり取り組んできた男女共同参画の具体的施策として、坊守を住職とともに組会員として位置付け、組制改正に向けて法整備を提案する。
- 宗会（宗議会・参議会）の議会改革として、2029年までに議員定数削減とそれに伴う抜本的な議会改革のため関係法規の全面改正に着手する。

推薦届出人 第26組寶泉寺住職 木全 和博
選挙事務長 第26組圓盛寺住職 北畠 忍
運動員 第2組東光寺住職 英 信哉 第14組圓周寺住職 小笠原英司
第25組寶蓮寺住職 千葉 良人 第26組了誓寺住職 澁谷 芳麿

裏面をご覧ください

候補者 まのたくじ 眞野 琢 児 (55歳)

所 属 名古屋教区第4組 法林坊
所在地 一宮市千秋町浮野字屋敷191番地
被選挙資格の区分 宗議会議員選挙条例第2条第1項第1号

経歴 1995年4月 協栄鉄工株式会社 入社
(途中 三菱自動車工業(株) シャシー設計部 出向)
1996年3月 電気通信大学 電気通信学部 機械制御工学科 卒業
2003年3月 同朋大学 別科 卒業
2004年6月 法林寺 住職 就任(2023年4月、寺号を「法林坊」へ改称)
2006年7月 第二期教化特別研修生
2009年9月 宗議会議員(現在4期) 以 上

「真宗同朋会運動」の精神

「真宗同朋会とは、純粹なる信仰運動である。」
1962(昭和37)年『真宗』12月号巻頭言

「この宗憲の改正に至りましたのは、(中略)根本的には、同朋会運動をとおして、現代社会に 대응する教団としての構造をなす宗憲たらしめんとする世論が全国的に昂ってきたことによる」

1981(昭和56)年『真宗』7月号「真宗大谷派宗憲改正一提案の趣旨一」

現「真宗大谷派宗憲」には、「宗憲改正委員会報告書」より、3項目「宗門存立の本義の闡明一同朋社会の実現」「宗本一体一真宗本廟中心の宗門」「同朋公議一門徒の宗政参加」を前文にうたっています。

「真宗同朋会運動」発足から63年、「真宗大谷派宗憲」改正から44年、今の宗門にその精神は本来にあるのでしょうか。

表現は、時代によって変わっていく必要があるのでしょうか。しかし、その願いや精神は不変なものはずです。

宗門が掲げている『本願念仏に生きる「人の誕生」と「場の創造」』による施策は、「真宗同朋会運動」の具体的な運動としてあるのではないのでしょうか。

先達の精神をしっかりとたずねながら、一人、一カ寺が真宗大谷派にある意義と喜びを、そして元気の出る宗門をめざして頑張っていきたいと思えます。

何卒、ご支援のほどよろしくお願ひいたします。

合 掌

推薦届出人 第4組正起寺 住職 下間 修
選挙事務長 第4組本龍寺 住職 大澤 俊成
選挙運動員 第4組圓長寺 住職 小林 哲也 第4組本證寺 住職 本多 真美
第4組立圓寺 住職 田中 晃英 第4組瑞仁寺 住職 浅井 浩文

候補者 とみ た たい じょう 富 田 泰 成 (73歳)

所 属 名古屋教区第28組 妙用寺
所在地 稲沢市祖父江町祖父江中屋敷86番地
被選挙資格の区分 宗議会議員選挙条例第2条第1項第1号

宗憲前文には、「この宗門の運営は何人の専横専断をも許さず、あまねく同朋の公議公論に基づいて行う。」と示されている。

昨今の宗門の現状は鑑みるに果たして宗門運営の基本である「同朋の公議公論」が尽されているか。

2021年6月に「宗務改革(行財政改革)の推進にむけて」(以下「内局案」)が但馬内局のもとで公表された。この「内局案」に対して内局巡回において、議論意見交換がなされ、その結果、「内局案」は、作成に至る協議や宗会での議論が不十分であったと指摘され、スケジュール等見直しを余儀なくされた。

これを受けて2022年6月の宗会で「宗務改革の推進に関する条例」が制定され、条例に基づいて行財政改革検討委員会が設置された。そして2024年4月に「行財政改革検討委員会報告」が出された。

当局はこの報告書を手掛かりに 内局の責任において具体的方途の検討を行い 可能なものから速やかに実行する方針を示した。その中で 昨年末当局より教務所に行財政改革の第一歩として教化交付金の交付基準の改定が提示された。

内局の専横事項とはいえ、この交付金の改革は教区 組の運営に多大な影響を及ぼす重大な制度変更である。議会での十分な議論を経た上で、地方の意見を聞き取り合意形成をする慎重かつ丁寧な進め方が必要でないか。

第八回教勢調査の報告によれば 教勢は停滞でなく衰退しているとある。行財政改革は宗門の二十数年来の最重要喫緊の課題である。

同朋社会の実現を願ひ、同朋教団の確立をなしとげるには情報の公開 共有を進め、小さな意見をも汲み取る真の同朋公議を尽くさねばならない。

宗門の本来化を願ひ、現代社会に即応する宗門を目指し宗務改革に力を尽くす覚悟です。皆様のご支援を切にお願い申し上げます。

合 掌

◎開かれた宗門運営

あまねく同朋の公議公論に基づく宗門運営
男女両性で形づくる教団を目指し、女性の宗門参加を促す

◎宗務改革の推進一財政の見直しと健全化

宗務のスリム化一事業の見直し 組織の再編成
寺院運営に関するサポート体制の充実一解散合併の手続きの支援体制作り

◎現代社会に 대응する 教学の振興と教化の推進

次世代を担う教化の中心となる人の育成
青少年教化態勢の確立

推薦届出人 第10組正琳寺 野田 慈勝
選挙事務長 第28組祐専寺 田中 憲雄

候補者 て し のぶ 勅 使 忍 (73歳)

所 属 名古屋教区第18組 法善寺
所在地 名古屋市東区葵一丁目2番11号
被選挙資格の区分 宗議会議員選挙条例第2条第1項第1号

推薦届出人 第18組開闢寺 小嶋 久住
選挙事務長 第18組正徳寺 佐藤 史朗
選挙運動員 第17組常瑞寺 黒部 朋之
" 第18組法恩寺 加藤 典彦
" 第31組法輪寺 近藤 知仁
選挙事務所 長久手市石場906番

教学の振興と教化の充実を!

今回、宗政の場へ出させていただくことで、真宗同朋会運動の核となるべき

- ・教師養成の課題克服
- ・青少年教化の更なる展開
- ・帰敬式受式の推進
- ・学事機関・施設の充実
- ・同朋の会・開法会・学習会の促進 など

教学の振興と教化の充実を中心課題として取り組んでまいります。

そして、今一度、『同朋法要式(仮称)』の制定を進めます。

どうか、共に協議の場を広げ、この難局を乗り越え、次の世代へ念仏の声を確実に届けましょう!

来る9月15日施行の宗議会議員選挙について、以上の者から立候補の届出があり、候補者の数が議員定数5名を超えなかったため、宗議会議員選挙条例第69条第1項により投票を行わないことになりました。

なお、当選人の決定については9月15日に行いますことをご承知おきください。

名古屋選挙区選挙管理会